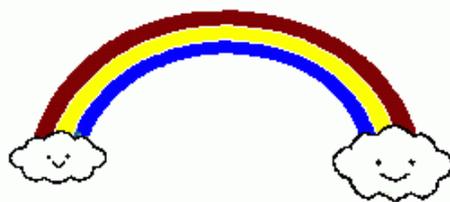
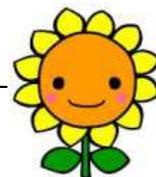


つばき

7.8月号



2014年8月25日
特定非営利活動法人
山口発達臨床支援センター



あわただしい夏も終わろうとしています。猛暑でありながらも、晴れていた日よりも大雨の日を思い出すことが多かったようにも思います。

広島での豪雨災害他、連日心を痛める事件が報道されていました。安佐地区は実習地訪問や島根に行く途中に立ち寄ったことのある地です。被災者のみなさまのご心痛を思うと心が張り裂けそうです。心よりお見舞い申し上げます。

この夏も全国行脚でした。7月末のセンターのセミナーの直後、兵庫から始まり、三重、広島、東京、そして山口と演習教材も全国を飛び回りました。特別支援教育を志す学生への大学での集中講義も2校ありました。最終日のレポートの課題は「教員の専門性とは？何か」。3日間の集中講義の内容を受けてそれぞれの思いが凝縮していました。その中で目をとめた内容です。

「専門性と人柄はどちらが優先するのか、疑問だったが、専門性の中に人柄が含まれるのだとわかった」「どの段階で障がいがあるかに気付くのか。個人差との見極めは?」「特別支援学校であれば、子どもの人生の中で最大12年間のかかわり、かかわる年数は人生のほんの一部、その大切な時間を無駄にしてはいけない。充実した時間にするには、心・知識・技能が必要」「学校での時間だけでなく、ずっと見守れる人でありたい」「絶えず手伝うヘルパーでなく、自立に向けてできない時に助ける見守れるサポーターになるためにも勉強していきたい」「知れば知るほど専門性がない自分と専門性がなくて子どもにかかわることの恐さを感じる」「障がいのない子どもたちは、発達の柱が太く、少々の悪影響があってもはねつける力があるが、障がいのある子どもたちは周囲の関わり方に影響されやすい。悪いかかわり方をも受け入れてしまう。かかわり方次第で良い方向にも悪い方向にも向いてしまう。だから教員の力を付けることが大切。」「日々の学校での身体の学習がない夏休みのひと月で移動できなくなった進行性の子どもの報告を知り、日々の積み重ねの大切さを知った」

「肢体不自由教育」の講義だったため、3日間演習を通して伝えてきました。主な内容は、1日目は、正常運動発達の道筋と相手の身体へかかわりながら運動障がいをもつ子どもたちへのポジショニングについて、2日目は、認知の正常発達の道筋と、意思表示手段と文字の学習に向けてのプロセス、3日目は健康とライフステージで考えること、摂食機能の発達と支援の仕方でした。

ライフステージであれば、障がいを持つ子どもたちがかかわる支援の機関・人のマップは、幼児期・学童期・青年期・成人期で異なります。また、先天性障がいの場合は告知されるのは保護者であり、後天性障がいであれば本人が知るようになります。だれが告知を受けたのか、診断を受けてからの期間によって障がいの受け止め方は異なります。それは、カウンセリングマインドの基本です。良きにせよ悪きにせよ支援者のひとことがどんなに影響を与えるかを感じることを学生にも伝えてきました。心あるたまごが教員になれますように…。

山口県特別支援教育臨床研究会のご報告

日時：6月21日（土）9：30～11：30

場所：当センター 講師：川間 弘子

(山口発達臨床支援センター理事長)

【内容】～「WISC-IVについて」

前半 WISC-IVの検査結果から子ども像を想像してみよう

後半 実際のお子さんの実態とアセスメントから指導計画作成へ・参加者によるディスカッション

～皆さんの感想より～

- *検査を指導に活かしきる、保護者に丁寧に伝える責任を感じた。
- *検査はできても解釈の難しさ、又それを具体的にする力不足を痛感した。
- *WISC-IVは奥が深く、学べば学ぶほど発見があり素晴らしい検査。
- *「指導につなげるための検査」という言葉が響いた。などなど……





夏季セミナーのご報告

～数の学習～

数えよう！数えてみよう！いくつで「おなじ」になるかな？

～「ちがひ」の学習に向けて～

数える、同じにする、合成・分解

講師：宮城 武久 先生 川間 健之介 先生 川間 弘子



今年も元気な宮城先生と盲導犬ニース君に会えました。



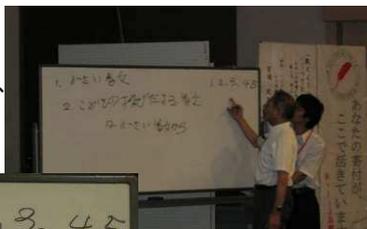
1日目

まずは、「数える」のお勉強

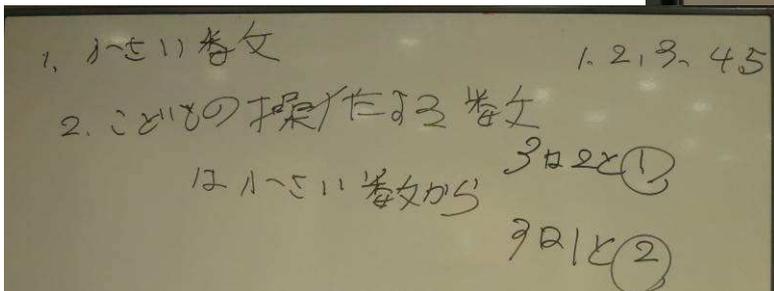
タイルを使って、「いち・に・さん」で・き・た！

【日 時】 7月20日(日)～21日(月・祝)
1日目 9:30(受付)～16:30
2日目 9:30～16:00
【場 所】 防府市地域協働支援センター
「ルルサス防府」多目的ホール(2F)

スライド式数え板→固定式数え板→1対1対応式数え板を使用。
子どもの目を見ながら指導すること、机には要らないものを置かない、子どもに間違わせない。意味が深かったです。



宮城先生がホワイトボードに。皆さんビックリでした。



宮城先生が書かれた字です。

次は「同じにする」

何度も繰り返し1と1、2と2、3と3、4と4、5と5 お・な・じ



演習時、机の間を回られ、参加者さんの質問に答えたり、聞こえてくる声に反応されながら指導いただきました。実際に自分たちでやってみることで学んでいきます。



これで1日目はおしまい。質疑・応答の時間にニース君の紹介。盲導犬って水かきがあるんだって。

センターの手作り教材や利用者さんの手作り作品も展示しました。



2日目

2日目は合成・分解

(例) 3は2と1 「ない」のお勉強もしました。

2日目だけの参加者さんにもわかるように、「数える」の復習から始めました。「同じ」の理解が難しいと「ちがう」の理解が難しい。そして「ない」を教える。指導方法などいろんなことを教えていただき、先生役と子ども役になり何度も演習。内容の濃いセミナーでした。宮城先生との演習では、手元が見えるようスクリーンに映し、参加者の方に見ていただきました。



今年の夏季セミナーは2日間通して約100名の方に参加いただきました。

北は北海道から南は長崎県。初めての参加者さんが多かったです。

今回も赤い羽根の助成金をいただき、参加者さんに喜んでいただけるセミナーが開催でき、職員一同も嬉しいです。

～皆さんのアンケートより～

- *よくありがちな支援のポイントなど具体的に例をあげて教えていただきわかりやすい。
- *子どもを失敗させないよう、理解しやすい入りやすい声掛けや行動を知ることができ、良かった。
- *演習を通してことばかけのタイミングやその内容も分かり、全てに意味があることなのだと分かり、意図・意味が分かるとうどんどん面白くなった。
- *左→右/上→下の法則と子どもの目の動きを見る、1拍早く数える・・・子どもと何気ない時に質問された時の答え方がもっと意味のある答え方になりそう。
- *いろんな発見やつながりを教えていただきありがとうございました。
- *間違えさせない指導法、子どもが分からないのではなく、教師の教え方が悪いなどたくさん教えていただきありがとうございました。
- *今年度も感動いっぱいでした。 などなど・・・ アンケートのご協力ありがとうございました！！

次回

次回は春季セミナーです。春は「文字について」の講演を予定しています。(アンケートのご要望により)また詳しいことが決まりましたら、会報やホームページ等でお知らせいたします。お楽しみに♪

セミナーではこんなことも・・・

文栄堂さんによる関連書籍の販売は、いつも種類も豊富で、なかなかこんなに充実した書籍販売はありません。参加者さんも大満足！



保育では、至誠館大学の学生さんがボランティアで子どものお世話をしてくれました。参加のお母さんもゆっくりお勉強できたようです。ありがとうございました。

今年、創立20周年・NPO認証15周年。祝う会では、いろんな方からお祝いをいただきました。ありがとうございました。



茶話会のご案内

日時：9月26日（金）
10：00～12：00

場所：当センター

講師：ふれあい教育センター

研究指導主事 丸山 敦子 先生

参加費：500円

【内容】通級指導教室の現状

5月には就学について、学校選びのお話でしたが、今回は通級指導教室のお話です。

今、学校はどうなっているのだろう……。お話を聞きに来ませんか？

情報として、きっと役立つお話し満載、間違いなし！



イオンギフトカード～ご報告

イエローシート・イオンギフトカードで新しい教材をご購入させていただきました。



新しい教材で、楽しくお勉強したいと思います！！

いつも ご支援ありがとうございます！

新規・継続賛助会員様

(順不同)

☆松本 洋子さま	☆稗田 久恵さま	☆日向 國雄さま	☆森次 恵子さま	☆秋本 敬子さま
☆小石 伸江さま	☆中村 隆夫さま	☆榎井 はるみさま	☆三浦 敦江さま	☆松下 和洋さま
☆仲山 佳秀さま	☆清水 聡美さま	☆眞部 信吾さま	☆嬉 真理子さま	☆八木 陽平さま
☆濱野 崇さま	☆國重 茂美さま	☆福本 景子さま	☆高阪 真樹さま	☆上中 清伸さま
☆鬼武 美智代さま	☆松岡 幸子さま	☆上村 則孝さま	☆河合 文子さま	☆素村 麻莉子さま

団体利用会員様

☆ のぞみの里 はばたきクラブ様

センターからのお知らせ

★ 指導時間について(確認)

個別指導はこれまでも**1単位時間50分**となっています。前後の時間は準備・片づけにあてています。

詳しくは、すでにお配りしております「当センター利用にあたって」をご確認いただきますよう、お願いいたします。ご不明な点は、当センターまでお問い合わせください。

編集後記・・・報告集にご協力いただき、ありがとうございました。お蔭で今年も素敵な報告集ができあがりました。只今、配布中。もう皆さまのお手元に届いているでしょうか・・・。